慶應塾生新聞

発行人　安田　淳
編集人　水口　侑
炭本　吏音
塚原　千智
古嶋　凛子
山本　結以

〒108-0023 東京都港区芝浦2-8-14第2AKビル4階B
TEL 03(3454)7966
FAX 03(6435)2573
http://www.jukushin.com/

予約購読料
1年分11回3000円（送料込）
4年分44回9600円（送料込）
振替00150-0-148101
次号は2月12日発行（予定）
© 慶應塾生新聞会2021

第5代塾生代表　山田健太氏に

低迷する投票率、知名度の向上依然課題に

昨年12月18日、第5代塾生代表選挙の開票が行われ、山田健太氏（総2）が当選した。山田氏の任期は1月31日から1年間となる。しばこう候補と山田健太候補の一騎打ちで始まった第5代塾生選挙。選挙期間中にしばこう氏が立候補を取り下げたため、事実上、山田健太氏の信任投票という形での選挙となった。今回は、当選を果たした山田氏に自身の選挙活動を振り返ってもらった。

山田健太氏
写真＝本人提供

○塾生代表に選出された今の率直な気持ち

ありがたいです。中間発表の数値ではかなり厳しい状況でしたが、最後まで応援してくださった塾生の方々に感謝を伝えたいと思います。そして当選はあくまでスタートであってゴールではないので、しっかりと気を引き締めていきたい所存です。

○選挙活動において、意識していたこと

「派手さはなくても着実に」を意識していました。選挙の当選だけを考えるのなら、派手さが必要なのは分かっていました。しかし、「ふざけている」と思われたくなかったため、地味でも一人ひとりの理解を得て輪を広げていくことを大切にしました。

○11・45%という投票率をどう考えているか

「低い」。その一言に尽きるのではないでしょうか。実質立候補が一人しかいない選挙ではあったとはいえ、まだまだ低い値だと思います。塾生代表制度に反対する人が多いというよりは、制度自体が知られていないと改めて認識しました。

また投票システムがあまりにも複雑かつ問題を抱えたものであることが発覚しましたので、確実に次の選挙までに改修します。

○自身が掲げる公約

活動支援面：ゼミやサークルなどを始めとしたコミュニティへの参加をサポートする。

広報面：全塾協議会を含め慶應全体の広報をより透明化し整理し発信する。

予算面：今に合った用途の財源支出を認可し、必要な団体や人を金銭面でも支援する。

上記3つを選挙期間中、公約として掲げさせていただきました。

まず活動支援面に関して、現在オリエンテーション実行委員会等の団体と話して抜本的システムの改善を準備しています。もうしばらくで発表予定です。楽しみに待っていてください。

次に広報面に関して、「課外活動のkeio.jp」といったプラットフォームが作れないか考えています。関係各所と相談して進めてまいります。

最後に予算面に関して、現在さまざまな団体に昨年度の支出について伺っている状況です。改めて必要支出を認められるよう制度を作成していきます。

また公約以外では、「慶應に通いたい、慶應が楽しい」と思っていただけるようなイベントの開催を進めてまいります。

○今後の抱負

皆様に「慶應に通ってよかった！」そう思っていただけるよう邁進していきます。今より楽しく、便利な大学生活を提供するために頑張っていきます。そしてそれを塾生の皆さまと一緒に作っていきたいと考えております。ぜひよろしくお願いいたします。

○塾生へのメッセージ

改めて皆さまに感謝を申し上げます。応援していただき本当にありがとうございました。

お願いが一点あります。皆さまのご意見やお気持ちを私にぶつけてください。私が想定できる皆さまの悩みはあくまでも、私の想定範囲内から出ません。ですので、ぜひ皆さまの声を私にぶつけていただければと思います。私のツイッターのDM宛でも構いません。お待ちしております！

【プロフィール】
山田健太（やまだ・けんた）
2019年4月総合政策学部入学。総合責任者として世界初のオンライン文化祭となったオンライン七夕祭を成功に導く。昨年10月にSFC新歓実行委員会代表に就任。

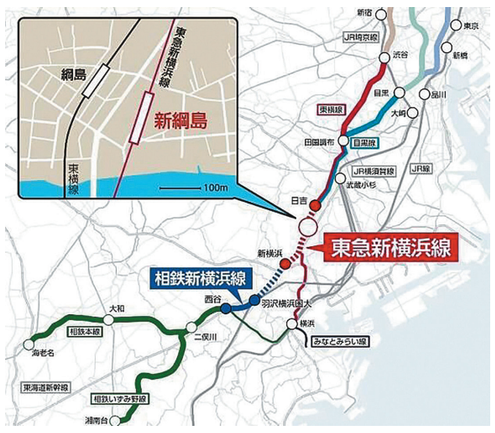
塾生代表とは

塾生の自治組織かつ代表組織である全塾協議会の代表。全塾生の代表として意見を集約し、よりよい慶應義塾をつくっていくことを目的に2016年より設置。自治会費の配分や全塾協議会に所属する団体の監督・助言など、さまざまな業務を行う。

なお、塾生代表選挙は投票率が10%を下回った場合、選挙不成立となる。

相鉄・東急直通線

新駅名称「新綱島駅」に



東急電鉄HPプレスリリースより引用

昨年12月21日、東急電鉄は2022年下期に開業予定の東急新横浜線「綱島地区に開業する新駅」の名称に「新綱島駅」を選定したと発表した。東急線の新駅開業は約20年ぶりとなる。

東急新横浜線は、一昨年11月に開業した相鉄線「羽沢横浜国大駅」から東急東横線・目黒線日吉駅までをつなぐ約10キロの路線。2022年の開業で相鉄線と東急線の相互直通運転を行う。

新線の開業により、神奈川県央部や横浜市西部と東京都心部が直結され、東急線から新幹線へのアクセス向上も図る。

新駅は新横浜駅と日吉駅の中間地点で、東横線綱島駅から約120メートル東に新設する。

駅名募集は8月から9月にかけて、港北区内在住・在職・在学者を対象に行われた。応募総数は1898票で、「新綱島駅」「東綱島駅」のほか、「綱島街道」「綱島リバーサイド」「鶴見川」「港北綱島」などの候補が挙がった。この中から「多くのお客さまから支持され、新しい駅の新規性を分かりやすく表現」していることから、「新綱島駅」を選定したという。

東急電鉄は今後、駅名決定に向けて、関係自治体との協議などの手続きに入るとしている。

WEB限定記事のひとコマ（報道編）

なぜ東京歯科大は慶大を選んだのか

知られざる名門大学の宿命

駿台教育研究所の石原賢一進学情報事業部長に東京歯科大と慶大の合併をテーマに話を聞いた。

東京歯科大の2020年度歯科医師国家試験合格率は、全国1位であり、大学の受験生からの人気も堅調。東京歯科大は言わずと知れた名門大学で、経営的に厳しい状況であったということは考えにくい。では一体なぜ、今回の慶大と東京歯科大の合併が実現したのであろうか。その舞台裏では名門大学ならではの事情があった。

まず、国公立大と私大では歯学部の環境に大きな違いがあると石原氏は指摘する。「国公立大の歯学部は、東京医科歯科大をはじめ、北海道大、東北大、大阪大など総合大学の中に設置されているものが多く、他の分野と協力しながら総合的な歯科研究が可能である。一方、私大の歯学部のうち、総合大学の中に設置されているものは日本大のみ。私大の歯学部はどうしても研究の幅が広がらないというのが事実としてある」

歯科単科大である東京歯科大は、130年の歴史を誇る名門大学であり、その分総合的な歯科研究が社会から求められる。今回の合併の背景に関して石原氏は「東京歯科大も歯学部だけの単科大学でできる研究には限界があると感じていたのではないか」と分析する。

（続きは本紙webサイトでご覧いただけます）

塾生の家、山食が存続の危機

クラファンで広がる支援の輪

多くの教職員や塾生が出入りする慶大三田キャンパスの西校舎。そこにはお昼時になると塾生で溢れかえる場所がある。学生食堂「山食」だ。

「学生に安くお腹いっぱいになってもらいたい。そういう思いで日々営業しています」。そう笑顔で語ってくれたのは山食3代目社長の谷村忠雄さんだ。

山食は1937（昭和12）年の創業以降、多くの塾生・塾員に愛され続けてきた。数あるメニューの中でも多くのファンを魅了する山食の看板メニューといえば「山食カレー」だ。三田キャンパスで授業を受けたことのある塾生で、山食カレーを食べたことがない人はいないと言っても過言ではない。

しかし、そんな山食に今、異変が起きている。新型コロナウイルスの影響で、全国の飲食店が経営面で大きな影響を受けたが、山食もその例外ではない。ゼミやサークル、三田会の打ち上げパーティーがことごとく中止となり、お昼時の時間帯であっても学生の入りがまばらな日々が続く。

「創業以来の83年間で、ここまで深刻な経営難に陥ったのは今回が初めて。山食の存続が危うい段階まで来ている」と谷村さんは眉をひそめる。

緊急事態宣言下での3か月間の休業と、パーティーが開催できないこと、さらに塾生の来客が激減したことで、収入は昨年の同じ時期と比べて80％以上減少したという。対面授業が再開され、学生の足取りは回復傾向にあるとはいえ、原価率が破格の50％というランチ営業では、ほとんど収益がとれないというのが現状だ。

「銀行から500万円ほど借り入れるなど、経営状況の改善に向けてできることは全てやってきた。しかし、毎月100万円の赤字を出している現在の状況下では、数か月先の経営状況も見えないというのが現状です」

そんな前代未聞の経営難から脱却すべく、山食はクラウドファンディングを立ち上げた。事業の「起案者」を誰でも「支援者」として手軽に支援できるのがクラウドファンディングの特徴だ。

今回の山食のクラウドファンディングは、塾生向けに一口500円から、塾員向けに一口1万円から行うことができる。返礼品もレトルトカレーや食券クーポンをはじめ、カレーの食器やなど、さまざまリターンを用意している。

山食3代目社長
谷村忠雄さん

また、支援者からの資金は、返礼品の発送料や手数料を差し引き、残りの全額を山食存続のための運転資金に充てると谷村さんは説明する。

「山食はいま、存続の危機という大きな山場を迎えています。山食が誇る長い歴史と伝統を絶やさないためにも、ぜひとも塾生、塾員のみなさまのお力添えをいただけないでしょうか」

支援は1月25日まで受け付けている。特設サイトから誰でも気軽に山食を支援することができるので、要確認だ。

このような状況下でも谷村さんは「今後、メニューをさらに値上げする予定はない」と断言する。安くお腹いっぱいになってもらいたいという谷村さんの思いはいつでも変わることはない。

どんなときでも暖かく塾生を迎え入れ、たくさんの思い出を作り出してくれた山食。クラウドファンディングを通じて、今度は私たちが恩返しをする番ではないだろうか。

大学生のためのトレンド講座　4
推しがいなくなった日常どう過ごす？　3
ミス・ミスター慶應コンテスト　3
1月号

バスケ早慶戦

実力の差を痛感する一戦に

慶大は守りながら、攻撃のリズムを作る時間が続いた

第78回早慶バスケットボール定期戦が12月19日日吉記念館で開催された。前年度早慶戦で勝利を飾った慶大は、関東大学バスケットボール連盟3部ながら、1部の早大に挑んだ。

○第1Q

甲谷（環4）、岩片（環4）、水谷（環2）、山本（政4）、山下（法2）を先発に並べた慶大。開始後まもなく、早大が3Pを決め、先制点を取る。慶大も主将の甲谷を中心に、積極的な攻めを見せた。その後、一進一退の攻防が続いたが、慶大はリードを取ることなく、16対22で第1Qを終えた。

○第2Q

早大は立て続けに3Pを決め、18対27となったところで、慶大はこの試合初めてのタイムアウトをとり、体制の立て直しを図った。しかし、早大のシュートが落ちない苦しい展開が続いた。慶大は2度目のタイムアウト後、慶大らしいスピードを生かした攻めを見せ、点差を縮めた。粘り強いディフェンスで、攻撃からリズムを作ったが、慶大は第1Qでの差を狭めることができず、32対47で第2Qを終えた。

○第3Q

ハーフタイムを挟んでの第3Q。慶大は円陣を組み、試合に臨んだ。まず、慶大は序盤の早大の攻撃を振り切ると、一気に主導権を握り、連続で3Pを決めるなど、点差を縮めていった。早大も細かなミスが目立ち、主導権は慶大に移った。しかし、第1・2Qで開いた点差は大きく、逆転までは及ばず、57対68で第3Qを終えた。

○第4Q

序盤から早大に主導権を握られ、慶大のパスが通らないなど、苦しい展開が続いた。慶大は、連続失点が続いたところでタイムアウトを取り、体制の立て直しを図ったが、勢いに乗った早大を止められず、68対91で試合を終えた。

第97回箱根駅伝

杉浦、箱根の山に挑む

一昨年、東京都立川市で行われた箱根駅伝予選での杉浦

第97回東京箱根間往復大学駅伝が1月2日、1月3日の2日間にかけて開催され、関東学生連合チームで出場した杉浦慧（政3）は、往路の5区に出走し、1時間19分38秒（区間21位相当）で走破した。関東学生連合チームは11時間18分10秒の総合成績を収め、20位相当の順位であった。総合優勝は駒澤大学で13年ぶり7度目の栄光を掴んだ。

杉浦は予選会で1時間2分53秒の好記録を叩き出し、関東学生連合チームに選抜され、主将を務めた。そして当日、慶大としては3年ぶりに箱根路を駆け抜けた。

5区は箱根の険しい山を登る特殊区間。標高差864メートルを一気に駆け上がる難コースとして知られている。杉浦は長く続く登り坂に苦しみながらも歩を進め、たすきを芦ノ湖までつないだ。

来年は最終学年となる杉浦。予選会では慶大として19位の好成績を残し、箱根経験校と戦える力を示した。出走した経験を部員に伝え、来年は28年ぶりの本戦出場を目指してほしい。

喊声

「老成の社会人になりきることは学生にとって、恐ろしい堕落であります」。太宰治が1940年に「三田新聞」第428号へ寄稿した短文「心の王者」の一部だ。ぜひ全文を一読してもらいたい。その中で、太宰は学生本来の姿について、次のように主張する。社会のどの部分にも属していないが故に、自由な時間を持てるという特権を誇りたまえ。生涯で一度限りのその期間こそ大事にしなさい▼ところで、早くも2021年が始まった。昨年は紺色だった手帳も、新型コロナに打ち勝つ元気を身に付けるべくオレンジ色のものに一新した。ポケット部分には慶應塾生新聞（会）の同期である2020年度代表と副代表の手紙を入れている。「いつもありがとう」「これからもよろしくね」。1年生の3月にもらった。手帳を新しくする際には、手紙も移し変えるが、実はこのタイミングで読み返すことがひそかな恒例行事なのだ▼ただ、現在3年生。サークルの同期の手紙を移行させる小さな楽しみは残り1回。自由で精神的に猶予のある「心の王者」でいられるのは、どうやら22年3月までのようだ。もっと元気を出して、今年1年間を楽しまなければならない。もちろん、感染症対策をしながら…▼昨年の自粛生活という初めての経験下では、新しい趣味を見つけた方、もともと家で過ごすのが好きだった方、生活習慣が崩れた方などさまざまだろう▼幕開けた2021年。一つでも、皆さんに楽しいことが起こりますように。（桐原龍哉）

就活に必要な写真・データ
なんでも揃う
信頼と実績の就活写真
池袋本店・渋谷DHC駅近
手ぶらで来店OK
写真・データをサイズ自由すべてその場で手渡し！
ヘアメイク込み なのに嬉しい就活応援プライス！
写真修正で明るく綺麗に
PC・スマホ・携帯でアクセスOK
就活写真スタジオファン　検索

横濱眼鏡 YOKOHAMA OPTICAL
メガネ・コンタクト 正規ブランド取り扱い店
YOKOHAMA_OPTICAL
GUCCI GIORGIO ARMANI MARC JACOBS MAX&Co etc.
TEL 045-562-0294 日吉駅から徒歩1分！
商店街ドトール斜め向かいです。
Free eye examination available in English.
Special Discount Ticket -¥18,900引きクーポン
眼鏡一式お求めの際スタンダードレンズ¥18,900相当を無料でご提供致します。（お現金のお支払いのみ適応）
2021年1月末まで有効

塾生の憩いの場
山食
歴史と伝統
手作りの店！
MENU 大人気!カレーライス \330/大\380
パーティーも出来ます
特設サイトはこちらのQRコードから↓
慶應義塾大学
三田キャンパス内
TEL・FAX 03(3453)5971

続きはWebで。
Jukushin.com
あなたの「知りたい」がここにある
Twitterでは最新記事もWeb限定記事も配信中！
@jukushin